

AT車用シフトノブ&ブーツ取付説明書

BH5、BE5レガシイ
GDA、GGAインプレッサ

この度は本商品をお買い上げ頂きありがとうございます。
シフトノブのみ取付時は取付方法 (株)ズームエンジニアリング
をご参照ください。

取付方法

標準シフトノブ取外し fig-1参照
標準シフトノブをプラスドライバーを使用し取り外します。

レガシイの場合：標準コンソールBOX取外し（何もねじが付いてないので上側に引き抜き fig-2参照
外します。 **（ポイント）** 外した後、コンソールを運転席側にひっくり返すと作業が楽です。

インプレッサの場合：標準コンソールBOX取外し（後側のコンソールを外してから前側の fig-3参照
コンソールを外します。前後コンソールとも何もねじが付いてないので上側に引き抜き外します。）

シフトノブにブーツを通し、取り付け fig-4参照
シフトノブにブーツをかぶせ（この時、シフトノブのねじが締められるようなねじの下までブーツをかぶせませす）シフトノブのホローセットを六角レンチで締めこみ、ブーツを正規の位置に被せませす。

シフトゲートにシフトブーツを取り付ける fig-5参照
シフトブーツの裏側に両面テープを貼り、標準シフトゲートにシフトブーツを固定します。
（ポイント） この際、シフトブーツのステッチの位置をシフトゲートの四隅にあわせませす。

センターコンソールBOXを車体に取り付け fig-6参照
（ポイント） ブーツの厚み分が増しているため、コンソールBOXが若干フィットしにくい場合は、
ブーツをよくシフトゲートにフィッティングさせ、再度トライしてください。

シフトパターンシール貼り付け
貼り付けるところを良く脱脂し貼り付けませす。

作動チェック及び調整 fig-7参照
走行前にスムーズに各モードに入るか確認ませす。またP及びRモードにはシフトノブを押し下げな
ければ入らないよう、再度確認して下させす。



完成図

△注意事項、危険、警告

- ・走行中、異音、異常があった場合は走行を中止し、点検して下させす。
- ・本商品は上からシフトノブを押ししてシフトチェンジする為、手の自重で誤操作しないよう、十分注意して下させす。
- ・標準のシフトインジケーターが見えない為、誤操作しないよう（特に夜間）十分注意して下させす。
- ・本商品は標準のシフトノブと操作方法が異なるため、操作方法によく慣れて、かつ理解した上でご使用下させす。又他人が運転する際も同様です。

用意するもの
ウエス

構成パーツ

No.	部品名	数量
	ATシフトノブ	1
	シフトブーツ	1
	両面テープ	2
	六角レンチ（2mm）	1
	シフトパターンシール	1
	取り付け説明書	1

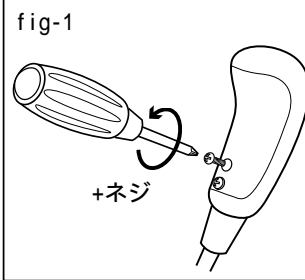


fig-1
+ネジ



fig-2
レガシイの場合



fig-3
インプレッサ後側



fig-4



fig-5
ステッチの位置

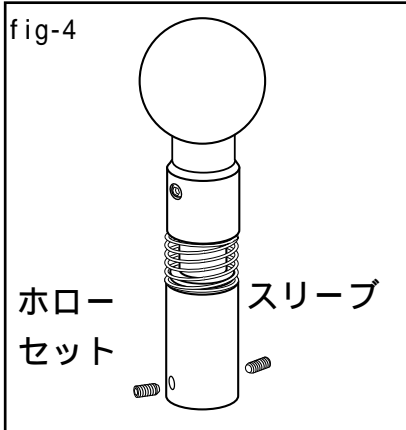


fig-4
ホローセット スリーブ

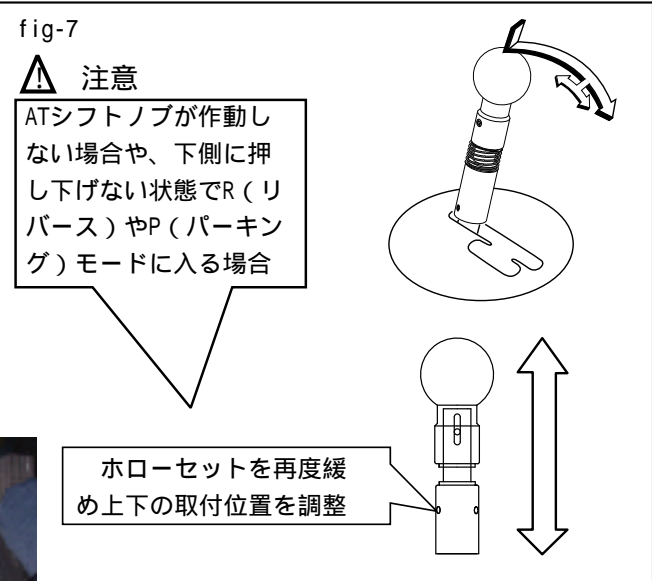


fig-7
△ 注意
ATシフトノブが作動しない場合や、下側に押し下げない状態でR（リバース）やP（パーキング）モードに入る場合
ホローセットを再度緩め上下の取付位置を調整



fig-6